

春焼き～火入れ

1. 実施日時 平成29年5月14日 7：00～16：00
2. 実施場所 仁多郡奥出雲町佐白地内（ダムに見える牧場林地）
3. 参加者数 火入れ従事者30名（奥出雲町、雲南市、飯南町／島根大学学生・教員ならびにOB
／研究者2名）
総務スタッフ2名／調査者・見学者5名
※総勢37名
4. 概要 11時30分着火、13時15分延焼終了、14時00分鎮火。
快晴、気温24℃、湿度50%、西の風3m～5m（着火時）。
火入れ面積約3アール（2区画ぶん） 17時～モチアワを0.5a播種。
5. 今後の予定
 - 調査記録まとめ
ドローンによる記録、面積測定、時系列経過詳細など
 - 播種と作物の生育状況調査、間引き
モチアワ、紅藜（ホンリー）、ヒエ、タカキビを火入れ地に。防火帯ならびに昨年火入れ地の2年目作物を雑草植生や再生竹の状態をみながら、穀物・野菜を播種する。
 - 夏の火入れを7月～8月に計画しており、該当地の伐開整備活動。
 - アワ、キビ、地カブなどの在来作物調査ならびに伝統食文化調査。
 - 雑穀の乾燥・脱穀・調製の準備（場所・機具選択）と効率的方法の検討。

6. 現況写真

▼防火帯散水、エンジンポンプ動作確認、人員配置確認後、風下山手より着火。



▼着火後約2時間で区画A最後尾まで延焼。区画Bブロック着火し1時間で延焼終了。



▼15時00分、区画Aは消火。区画Bは鎮火し、撤収に入った。



7. その他（経過と要検証事項等）

●時間経過

- 7:00 先発着・準備開始
- 8:00 参加受付開始
- 8:20 松江先発部隊到着
- 8:30～ ミーティング後、準備開始、後発隊着
- 11:10 火入れ式（西からの風3m…火入れ局地／気温24℃／晴れ／湿度不明）
- 11:30 着火（点火部・上部3、側部4、ポンプ2×2等）
- 12:20 区画A半ばまで延焼。区画A裾部東端に着火。
- 14:20 区画A,Bともに鎮火
- 15:00 消火確認
- 16:00 撤収・解散
- 17:00 見守・播種隊、区画確認、種蒔
- 17:50 見守・播種隊解散
- 18:40 火入責任者現場最終確認、退去

●飛び火と延焼速度

- ・飛び火は今回発生せず。
- ・燃焼に使った竹桿の含水率は低かったと推定されるが、直前10日間の降水量が多く、火入れ土中と周縁部の水分量も、昨年春の火入れと比較して多かったと思われる。毎回の課題であるが、伏込む材の量と延焼の発生臨界温度との相関を、これまでの火入れとあわせて整理しておく必要がある。今回はこれまででもっとも風が強く、風向の変化と火の進み方に細心の注意を払った。
- ・竹桿と土中水分量の多さが懸念されたため、前日に着火部の伏込量を増やしたことは正解であった。しかしそれでも足りず、当日かなりの追加を行った。
- ・延焼速度は記録を再検証中であるが、風が強い中風下から着火という条件がありながら、昨年春・夏とほぼ同じであると思われる。
- ・燃え残りが炭も含めてほとんどなく、きれいに灰になっている点は昨年以上に完全に燃えたことになる。要因は風の強さだと思われる。この後の作物の発芽、成長も含めて観察と検証が必要である。

†. 平成29年度竹の焼畑事業は「竹の焼畑2017」と呼称。奥出雲山村塾、里山管理研究会、森と畑と牛と、ダムの見える牧場が主要主体となって取り組んでいる事業です。